

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (13 4)

団体名	(特非)兵庫SPO支援センター	代表者名	(職名) (氏名) 代表理事 李 貴一
事業名	洲本市に子どもプラザをつくる 地域で子育てを応援・サポートする場づくり		

< 事業実施実績 >

年月日 <small>定例は「月1回」 「毎○曜日」等で 記入</small>	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
7月12日	洲本市総合福祉会館	19 (2)	子育てママを応援するセミナー「心が折れそうなとき、どうすればいい？」講師：新崎江里氏
7月26日	洲本子ども第三の居場所 「みらいえ」and 本町7 丁目商店街	100 (12)	こどもプラザみらいえ「みらフェス夏まつり」 コンサート出演：パソナ音楽島アーティスト 小島梨世・室井悠李
9月4日	YORISO1米田家 蔵の ギャラリー	8 (1)	音楽ワークショップ「ららプロ for Babies」 講師：石井かおり ピアノ：古川アヤコ
9月～ (毎木曜日or 月曜日)	YORISO1米田家	43 (4)	ママの居場所・ママカフェYORISO1米田家 担当助産師・保健師：山本神奈・岡千裕・平川磨紀
11月8日	洲本子ども第三の居場所 「みらいえ」and 本町7 丁目商店街	120 (12)	こどもプラザみらいえ「みらフェス秋まつり」 コンサート出演：パソナ音楽島アーティスト岩崎真琴・室井悠李・柳田 菜津美・蒼開中高ジャズバンド部
1月31日	洲本子ども第三の居場所 「みらいえ」	5 (1)	不登校や子育てに悩む保護者のための「オカリナ教室」講師：石原茂雄

< 効果と成果 >

今年度の取り組みを通じて、県立洲本高校、蒼開高校・中学校、本町7丁目商店街、パソナ音楽島、洲本市健康増進課などの関係機関をはじめ、洲本子ども第三の居場所「みらいえ」を利用する保護者と子ども、地域のアーティストや教育者などのボランティアを含めて、共に地域課題解決のためのパートナーとしてイベントやセミナーを実施できました。まさに事業の目的である「こどもプラザ」の役割を果たすことができました。

とくに洲本高校では、今回の「みらフェス」などの事業をはじめ、「洲本子ども第三の居場所みらいえ」での活動を全国の大会で洲本高校の取り組みとして発表されました。

高校では「探求」の時間もあり、地域の課題を考える取り組みを行っており、教育の観点からも有効です。

昨年まで当居場所でボランティアをしていた洲本高校生が卒業後、国立鳴門教育大に進学。長期休日の際は今でもボランティアに訪れ、子どもの課題を現場で学ぶことのできる場ともなっています。その他の機関や個人の巻き込みもそれぞれの強みと目的を合わせたかたちで、地域で子どもを支えるしくみを創っています。

<今後の展望>

今回の取り組みを通じて、悩みの掘り起こしができましたが、それを的確に関係機関につなげていく連携マップのような連絡網を作る必要性があります。

また、子どもの成長のために、「教育」「社会」「医療」の三要素が必要であることが見えてきました。

「社会（環境）」づくりには、この2年間の取り組みで「場」を作り、つながるしくみを整えたことである程度、見えてきました。

しかし、「教育」は学校、「医療」は病院という立てわけでは、解決できないグレーな位置にいる子どもたちへの対応が必要です。

学校教育のかたちとスケジュールでは適合できない子どもの学び、病気と言えない特性を持つ子どもなどへの対応など、関係機関と連携しながらも「しくみ」を創る取り組みを進めて参ります。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	450,000
イベント・ママカフェ参加費等	30,313
合 計	480,313

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対家金額 (円)
直 接 経 費	人件費	373,392	352,209
	謝金	20,000	20,000
	旅費交通費	41,140	39,140
	その他(消耗品費等)	45,781	38,651
	小 計	480,313	450,000
間接経費(一般管理費)		0	0
合 計		480,313	450,000